

ジェイリース

家賃債務保証を中心とした保証関連事業を展開しているジェイリース(東京都新宿区・大分県大分市)は、4月12日開催の取締役会でエイビス(大分県大分市)の全株式を取得し完全子会社化した。

ジェイリースがエイビスを子会社化

ITを用いてサービス強化 家賃債務保証事業で更なるシェア拡大に

一方1997年に大分県で創業したエイビスは、大分・東京・大阪を拠点に環境検査システムの開発販売、システム開発、パッケージソフトの販売などを展開してきた。環境検査システムでは国内シェアナンバーワンを誇り、全国各地の企業との取引実績がある。システム開発では自治体との取引も多く、ジェイリースのシステム開発のほか、その他大手企業からも長年システム開発を受託。高齢者等を対象とした「みまもりシステム」は、タイ・マレー

シア・ベトナムなどの海外でも展開している。また両社の人材、顧客基盤やサービスなどのリソースを融合・発展させることで、社会課題の解決による地方創生にも取り組んでいく。加えてエイビスの持つグローバルネットワークを生かしたアジアへの展開など、同社グループの事業領域の拡大、企業価値の向上にも資すると判断した形での子会社化である。

ジェイリースは2004年に、賃貸住宅における保証人確保という社会課題の解決を目指して大分県で創業。現在は全国36拠点で展開。主力の住居用賃貸保証は地域密着営業と顧客ニーズへの対応で順調にシェアを拡大してきた。コロナ禍をきっかけにニーズが拡大した、事業用賃料保証でも市場の開拓が進んでいる。現在は医療費保証サービスや養育費保証サービスも手掛けるなど、拡大を続けている。自社事業の成長を加速させるためには、ITを用いたサービス強化が必要と考え、今回のエイビス子会社化に至った。ITを活用したサービスの開発力・競争力の向

上を通じ、家賃債務保証事業での更なるシェア拡大を見込んでいく。



記者会見の様子